

# STEP 1 災害発生を想定しよう

もし明日、大雨警報が発令されたら… そんな状況を想定して、取るべき行動を確認しましょう。

## 新しい防災気象情報と風水害時に想定される町の対応

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	状況に応じた町の対応の例
<b>警戒レベル5相当</b> 命の危険、直ちに安全確保！	レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緊急安全確保」を発令</li> <li>命を守る行動の要請と救助への対応</li> </ul>
<p>↓↓ 危険な場所からすぐに全員避難！ ↓↓ (最寄りの避難所や安全な場所へ必ず避難！)</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>「避難指示」を発令</li> <li>防災無線や緊急速報メールなどで、速やかな避難を呼びかけ</li> <li>災害に関する情報収集、伝達および応急対策を強化</li> <li>指定避難所の運営を強化</li> </ul>
<b>警戒レベル4相当</b> 危険な場所から必ず全員避難	レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	
<p>↓↓ 高齢者など避難に時間を要する方はすぐに避難！ ↓↓ (その他の方も、避難の準備を！)</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>「高齢者等避難」を発令</li> <li>全職員が防災センターなどに参集し、緊急対応へ移行</li> <li>災害に関する情報収集、伝達および応急対策を実施</li> <li>福祉避難所と指定避難所を順次開設し、避難する方の受け入れを開始</li> </ul>
<b>警戒レベル3相当</b> 避難に時間を要する方や配慮が必要な方は避難(※)	レベル3 氾濫 警報	レベル3 大雨 警報	レベル3 土砂災害 警報	
<p>↓↓ 警戒レベル2までに、避難行動や持出品を確認！ ↓↓</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>防災無線などで注意喚起</li> <li>危機管理室と指定職員が防災センターへ参集し、災害に備えた体制に</li> <li>警戒レベル3以上の事態に対応できるように、職員の待機態勢を強化</li> </ul>
<b>警戒レベル2相当</b> 避難行動を確認	レベル2 氾濫 注意報	レベル2 大雨 注意報	レベル2 土砂災害 注意報	
<p>↓↓ 今後の予報や雨雲の動きなどの情報収集！ ↓↓</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>防災資機材などの準備、確認および点検を実施し、警戒レベル2以上の事態に備える</li> </ul>
<b>警戒レベル1相当</b> 災害への心構えを高める	早期注意情報			

(※) 高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児とその保護者など (気象庁および国土交通省発表より町独自に作成)



6月6日に実施された長沢地区の防災訓練。生涯学習センターへ避難する想定で実施されました。

5月29日から、新しい防災気象情報の運用が始まりました。警戒レベルごとに数字をつけて発表されることで、町が発令する避難情報や、町民の方が取るべき行動との対応が分かりやすくなっています。

**【警戒レベル3】**で「高齢者等避難」が発令された場合、高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児とその保護者など、避難に時間を要する方や配慮が必要な方は福祉避難所などに避難してください。**【警戒レベル4】**で、危険な場所から速やかに全員避難してください。

### 防災気象情報と避難行動



最上小国川付近の斜面崩壊  
幹線水路「三光堰」への土砂流入 (長沢地内)  
【提供：エアロトヨタ株(旧朝日航洋株)】  
【撮影：エアロトヨタ株(旧朝日航洋株)・アジア航測株】

令和6年7月の豪雨により町内各地で土砂崩れや浸水が発生。大きな被害となりました。

# 備えあれば、憂いなし

頻発化・激甚化する災害の被害を軽減し、生命と財産を守るための備えが必要です。

▼問い合わせ/舟形町住民税務課危機管理室 ☎(32)0155

### 頻発化・激甚化する大雨などの自然災害

5月27日、台風6号が発生。6月1日から3日まで、九州地方から関東地方まで広い範囲に大きな影響を与えました。近年、気候変動などの影響で集中豪雨による洪水や土砂災害が頻発しています。また、4月には長野県、三陸沖、北海道などで震度5強を観測する地震が発生しています。

自然は、時に人間の力や想定を超え、引き起こされた災害は甚大な被害をもたらします。それらの被害を軽減し、生命や財産を守るためには、平時からの備えが重要です。

### 自助・共助・公助で災害に強い町に

防災の基本的な考え方として、自分の命は自分で守る「自助」があります。さらに、地域の安全は地域で守る「共助」、行政が対策を行う「公助」が互いに補うことが、災害に強いまちづくりに繋がります。

地域で行う「共助」の防災として、「自主防災組織」が町内各地で活動しています。町内の自主防災組織の組織率は令和8年4月時点で97.8%であり、役場や消防、警察などの公的機関だけでは対応しきれない、大規模災害などの「いざという時」への備えが進んでいます。

### 防災の第一歩は「情報収集」から

#### 町からの情報発信

- 舟形町防災無線
- 防災情報登録制メール
- 舟形町ホームページ
- 舟形町LINE公式アカウント
- 河川・防災ライブカメラ

#### 国や県などのリアルタイム情報

- エリアメール・緊急速報メール
- 気象庁「キキクル(危険度分布)」
- 内閣府「防災情報システム」
- 山形県「こちら防災やまがた!」
- 山形県河川・砂防情報 など

▼舟形町ホームページ



▼河川・防災ライブカメラ



▼気象庁キキクル



▼こちら防災やまがた!



▼山形県河川・砂防情報



# 持出品・備蓄品チェックシート

## 持出品 (例)

○食料品	○生活用品・貴重品	○衣類・持ち物
<input type="checkbox"/> 缶詰・乾パンなど非常用食品	<input type="checkbox"/> スマートフォン	<input type="checkbox"/> 普段着・下着 (着替え)
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー	<input type="checkbox"/> レインコート (カッパ)
○医薬品	<input type="checkbox"/> 充電器	<input type="checkbox"/> 上着 (コート)
<input type="checkbox"/> 鎮痛剤・胃腸薬・かぜ薬	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> タオル・ブランケット
<input type="checkbox"/> きず薬・ばんそうこう	<input type="checkbox"/> 電池 (多めに用意)	<input type="checkbox"/> ヘルメット
<input type="checkbox"/> ガーゼ・包帯	<input type="checkbox"/> 現金・通帳・印鑑	<input type="checkbox"/> 懐中電灯・ヘッドライト
○衛生用品	<input type="checkbox"/> マイナンバーカード	<input type="checkbox"/> 舟形町防災ハザードマップ
<input type="checkbox"/> アルコール消毒液・石けん	<input type="checkbox"/> 運転免許証	○その他 (家庭の事情に応じて)
<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 水筒	<input type="checkbox"/> 持病の薬・普段飲んでいる薬
<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> ライター	<input type="checkbox"/> 哺乳瓶・ミルク・離乳食
<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー	<input type="checkbox"/> 缶切り・栓抜き	<input type="checkbox"/> おむつ・おしりふき
<input type="checkbox"/> 使い捨て手袋	<input type="checkbox"/> ビニール袋・ラップフィルム	<input type="checkbox"/> 生理用品
<input type="checkbox"/> 爪切り	<input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ・割りばし	<input type="checkbox"/> アレルギー対応の食品

避難する時に持ち出す物品の例です。それぞれの事情に合わせて、必要最低限のものをリュックサックなどにまとめましょう。

## 備蓄品 (例)

○食料品
<input type="checkbox"/> 飲料水 (長期保存)
<input type="checkbox"/> アルファ化米などお米
<input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品
<input type="checkbox"/> 調味料・漬物・果物
<input type="checkbox"/> ドライフーズ・お菓子
○調理器具・生活用品
<input type="checkbox"/> 卓上コンロ・ガスボンベ
<input type="checkbox"/> 災害用簡易トイレ
<input type="checkbox"/> 鍋・やかんなど調理器具
<input type="checkbox"/> 固形燃料・ろうそく
<input type="checkbox"/> 毛布・寝袋など寝具
<input type="checkbox"/> 洗面用具・ドライシャンプー
<input type="checkbox"/> バケツ・給水タンク
<input type="checkbox"/> アウトドア用品

断水が解消されたり救援物資が届いたりするまでの間、自足するための物品の例です。

1週間分の食料の例 ※大人2人分の目安



# STEP2 備えを確認しよう

注意報や警報が発令された時に備えて、どんなものを準備しておくべきか確認しましょう。



避難する時に持ち出す物品の例

**持出品・備蓄品は準備できていますか**

万が一の非常時に備えて、持出品・備蓄品を準備しましょう。避難する時に持ち出す持出品は、リュックサックなどに入れて、玄関や寝室など、すぐに出せるところに置きましょう。災害の発生後に自宅で過ごす際に必要な備蓄品は、断水や通行止めの長期化を想定して、1週間分を目安に準備しましょう。準備した物品は定期的に確認し、非常食の賞味期限や電池の使用期限が切れていないか、いつでもすぐに使える状態になっているかを確認しましょう。

**家族構成に合わせて必要な備えを**

持出品や備蓄品について、家族構成などの事情に合わせて準備することが必要です。例えば、家族に高齢者や乳幼児がいる、障がいや持病があるなどの場合、ミルクやおむつ、普段飲んでいる薬などは、災害時に入手しづらいことが考えられます。自分や家族に、特に必要なものがどのくらいあるか、日ごろから確認してみましょう。

**防災ハザードマップを読んでおこう**

町が配布している「防災ハザードマップ」には、日ごろの備えや災害時の対応についての情報が満載。この機会に確認しておきましょう。



町の防災ハザードマップは、令和8年度に更新予定です。

## ローリングストックで備えよう

「ローリングストック」とは、ふだん使う食料や日用品を、もしもの場合に備えて多めに買って置き、古くなったものから日常生活で使い、使った分を買い足すことで常に新しいものを保存しておくという、新しい災害用備蓄の考え方です。ローリングストックで、簡単・手軽に災害への備えをはじめませんか。

### ローリングストックのポイント

- 普段から口にしている飲料水やカップ麺、缶詰やレトルト食品などを少し多めに買い置きましょう。
- 食べた分を買い足して、常に新しいもの、賞味期限まで余裕があるものを用意しましょう。
- 災害直後でも栄養バランスに注意し、体調不良や病気を予防しましょう。
- アレルギー対応の食品など、一部の物品は災害時に入手しにくい場合があります。個人の事情に合わせて備えましょう。



※詳しくは右のQRコードから



# 防災に関わる方にお話を聞きました



最上広域市町村圏事務組合消防署南支署 支署長 加藤輝さん(写真左)と署員のみなさん

一人ひとりが災害という「龍」に備える。最上広域市町村圏事務組合消防署南支署。消防署は11名体制で、消火活動や傷病者の搬送、山岳遭難の救助などに従事しています。普段は地域の消防用設備の点検や救急講習会への参加なども行なっています。最近では川遊びのシーズンが近づいているため、非番日なども活用して救助方法や装備の確認を行なっています。大雨警報が発表されるなど、災害発生の可能性が高いと判断される場合には、町消防団や町危機管理室と連携して情報を収集するほか、河川や土砂災害危険

一人ひとりが災害という「龍」に備える。最上広域市町村圏事務組合消防署南支署。消防署は11名体制で、消火活動や傷病者の搬送、山岳遭難の救助などに従事しています。普段は地域の消防用設備の点検や救急講習会への参加なども行なっています。最近では川遊びのシーズンが近づいているため、非番日なども活用して救助方法や装備の確認を行なっています。大雨警報が発表されるなど、災害発生の可能性が高いと判断される場合には、町消防団や町危機管理室と連携して情報を収集するほか、河川や土砂災害危険

一人ひとりが災害という「龍」に備える。最上広域市町村圏事務組合消防署南支署。消防署は11名体制で、消火活動や傷病者の搬送、山岳遭難の救助などに従事しています。普段は地域の消防用設備の点検や救急講習会への参加なども行なっています。最近では川遊びのシーズンが近づいているため、非番日なども活用して救助方法や装備の確認を行なっています。大雨警報が発表されるなど、災害発生の可能性が高いと判断される場合には、町消防団や町危機管理室と連携して情報を収集するほか、河川や土砂災害危険



地域を守る消防署「南支署」



舟形町住民税務課危機管理室 室長 植松昌人

自分の身を守る。日ごろからの備えを。日ごろより地域の安全安心の確保にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。近年は、町でも自然災害の被害が発生しています。大切なことは、「自分の身は自分で守る」という意識を持ち、地域全体で日ごろから備えることです。町では、関係機関と連携し、防災体制の強化に取り組んでいます。令和3年には、「誰一人取り残さない」という理念のもと、他に類を見ない優れた福祉避難所「てとて」を整備しました。今後とも、町の防災の取組みに、ご理解とご協力をお願いします。

自分の身を守る。日ごろからの備えを。日ごろより地域の安全安心の確保にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。近年は、町でも自然災害の被害が発生しています。大切なことは、「自分の身は自分で守る」という意識を持ち、地域全体で日ごろから備えることです。町では、関係機関と連携し、防災体制の強化に取り組んでいます。令和3年には、「誰一人取り残さない」という理念のもと、他に類を見ない優れた福祉避難所「てとて」を整備しました。今後とも、町の防災の取組みに、ご理解とご協力をお願いします。

自分の身を守る。日ごろからの備えを。日ごろより地域の安全安心の確保にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。近年は、町でも自然災害の被害が発生しています。大切なことは、「自分の身は自分で守る」という意識を持ち、地域全体で日ごろから備えることです。町では、関係機関と連携し、防災体制の強化に取り組んでいます。令和3年には、「誰一人取り残さない」という理念のもと、他に類を見ない優れた福祉避難所「てとて」を整備しました。今後とも、町の防災の取組みに、ご理解とご協力をお願いします。

# STEP 3 避難行動を確認しよう

持出品を準備して、いざ避難… そんな時、どこへ向かえばよいか確認しましょう。



避難所の目印

町が開設する指定避難所



避難所などの一覧

※安全が確認できる自宅に留まる、安全な場所に住んでいる親戚・知人宅に身を寄せるなど、避難所に避難する以外の避難方法もあります。



避難場所の目印

※指定避難所の他、災害から一時的に逃れるための『指定緊急避難場所』として、各地区公民館などを指定しています。自宅の安全が確認できない場合や避難所までの移動が危険な場合などは、避難場所へ向かうことを検討しましょう。

## 避難所の備えと個人の備え

避難には、安全が確認できた自宅に留まる「在宅避難」や、安全な親戚宅・知人宅、町の避難所などに移動する「立ち退き避難」があります。町が設置する指定避難所には、飲料水や食料の備蓄やプライバシー保護のためのパーティション Tentなどの備えがあります。しかし、用意できる物品の数や種類には限界があるため、避難する方一人ひとりの準備が必要となります。長期化する可能性のある避難生活で、自身の健康などを守るために、持出品などの備えを万全にしましょう。



避難所に用意している物品の例 (右)災害用ポータブルトイレ (左)パーティションテントと簡易ベッド

## 災害時の協定

災害時の迅速な支援や復旧のため、自治体・企業と協定を結んでいます。

- 災害時の相互協力、相互援助など 東京都港区、宮城県大郷町
- 災害ボランティアに関することなど 舟形町社会福祉協議会
- 福祉避難所の開設、運営協力など 障がい者支援施設「光生園」、指定介護老人福祉施設「えんじゅ荘」、地域密着型福祉複合施設「ほなみ」、介護老人保健施設「舟形徳洲苑」
- 災害時の復旧作業など 舟形町建設業協会、東北電力ネットワーク(株)新庄電力センター



- 物資の調達、供給、提供など DCMニコット(株)、東北カートン株式会社、(株)小野商会(ウォーターネット山形月山)、(株)ゼンリン総合販売本部東北第一エリアグループ、山形三菱自動車販売(株)、山形県葬祭業協同組合
- 物資運送、運搬など ヤマト運輸(株)山形主管支店、新庄最上清掃事業組合
- 災害時の不動産手続きに関する相談 山形県土地家屋調査士会
- 災害時の情報発信 LINEヤフー(株)

## 防災拠点整備事業を進めています

町では、(公財)B & G財団から助成を受け防災拠点整備事業を進めています。本事業は、B & G海洋センターが所在する自治体対象となり、防災拠点の整備をとおして災害時の迅速な救助・復旧活動の体制強化と地域防災力の向上を図るものです。

町では、防災倉庫2棟の整備や救助艇の配備、油圧ショベルなどの機材導入に加えて、人材育成のための研修支援を受けます。これらの取組みにより、平時からの備えを充実させ、災害時に即応できる安全安心なまちづくりを推進します。



整備予定の防災倉庫と物品のイメージ